

特集

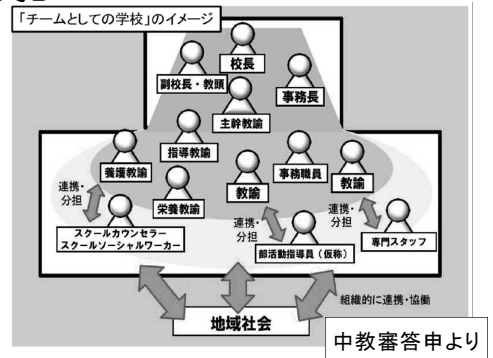
学校づくりと「チーム学校」／福島に生きる

特集Ⅰ：学校づくりと「チーム学校」

「チーム学校」と聞いてどのような学校をイメージするでしょうか。

その学校は、子どもの学習権が保障され、どの子どもあたりまえの子ども期を過ごさせるところでしょうか。

そんな学校を願う学校事務職員にできることはどのようなことでしょうか。



特集にあたって / 「チーム学校」政策とはなにか ～何を生かし、どこを排除するか～ / 事務だよりパワーが学校を変える / 意外と知らない就学援助の姿 / 冬の集会in 滋賀に参加して

特集Ⅱ：福島に生きる



「フクシマに人住んでるの?」「なんで避難しないの?」悪意などなく、そういうふうにいる人もいるかもしれませんが。しかし190万人の福島県民は様々な不安や矛盾を抱えながらも「さすけねえ」と言って元気に福島で生きています。それは原発事故をなかったことにしようとするものではありません。

「さすけねえ」は福島の方
言で「大丈夫」「気にしなく
てよい」という意味です

特集Ⅱにあたって / 原発事故は終わっていない / 「福島に生きる」～わが子を通して渡利での5年を振り返る～ / この5年 / ふるさと葛尾村がふるさとで終わらないために

注文はこちらへ

- <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>
(「制度研」で検索できます)
- E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp
- 〒194-0045
東京都町田市南成瀬4-13-10
植松直人 方
TEL 090-9675-1067 FAX 042-728-1616

特集以外の目次

- 3・11 その後「震災後の取り組みと今」
- 子どもを守るセーフティネット
・冬の集会「意外と知らない就学援助の姿」より
・現場に即さない「通知」待ち行政
- 会員紹介「制度研に会って」
- おすすめの一冊 「経済的徴兵制」(集英社新書)

2016年6月30日発行
A5判 64ページ
500円 (送料90円)

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会